

学校の風景・・・・・・・・

特色ある取組<40年の歴史に幕>

幼児教育センター附属幼稚園の歴史に幕

大宮区 幼児教育センター附属幼稚園

教頭 緒方 健二



1 はじめに

本園は、昭和52年に幼児教育センターの実践園として開園した、さいたま市唯一の市立幼稚園である。

本園は、平成30年3月末をもって閉園となり、40年の歴史に幕を下ろす。現在の年長児を含めた卒園児数は1,028人となる。



<幼児教育センター附属幼稚園>

2 本園の保育活動

本園は、小学校担任を経験した教諭と幼稚園経験のある教諭による保育や隣接する大宮小学校との交流など、特色ある保育実践を行ってきた。日々の保育については本園ホームページを御覧いただきたい。

(1) 大宮小学校との交流

隣接する大宮小学校の1・2年生と生活科の授業を中心に、年間10回以上の交流を行っている。園児は、年間通した小学生との交流により、小学校への期待を膨らませている。

(2) 様々な体験活動

本園では、体験活動を通して、園児の豊かな心をはぐくんでいる。毎月行われる国際交流や地域の高齢者の方々と一緒に遊ぶ活動、華道や

茶道の体験、季節の行事など、様々な体験活動を行っている。



<お茶の会>

3 センター附属幼稚園としての役割

本園では、さいたま市の幼児教育を推進するため、毎年幼児教育研修会を開催してきた。市内の公立・私立の幼稚園や保育園、小学校をはじめ、市外、県外からも多くの先生方に御参加をいただき、保育公開や研究協議会を行い、幼児教育の充実や保幼小の連携を推進してきた。本園での保育研究が、今後のさいたま市の幼児教育の一助となれば幸いである。

最後になりますが、長年にわたり、本園の活動に対し、御支援、御協力をいただいたことに厚く御礼を申し上げます。



<幼児教育研修会>